

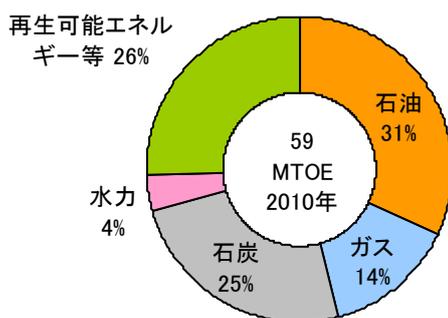
## 1-12 ベトナム

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー総供給量 (2010年) : 59 百万 TOE (日本の 13%)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2010年) : 0.68TOE (日本の 19%)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 111%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2010年) : 130.46 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 11.4%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2010年) : 1.5 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 16.7%)
- (6) エネルギー別可採年数 (2011年末) : 原油 36.7年、天然ガス 72.3年、石炭 3.0年

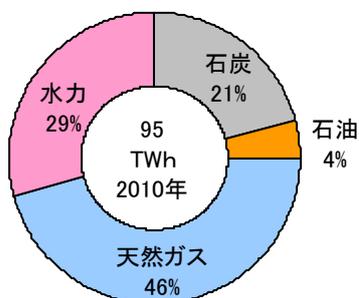
一次エネルギー供給構成 (2010年)



COUNTRY: Vietnam

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition

発電電力量構成 (2010年)



COUNTRY: Vietnam

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries 2012 Edition

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- 商工省 (Ministry of Industry & Trade : MOIT) が、電力、新エネルギー・再生可能エネルギー、石炭、石油・ガス産業など全てのエネルギー産業を統括する。MOIT は、これらエネルギー産業に関する法律、政策、開発戦略、マスタープラン、年次計画の策定ならびに首相への提出、発行・認可を伺う責務を負う。また、エネルギー部門の指導・管理も行う。この他、計画投資省 (Ministry of Planning & Investment : MPI) は各省庁から出されたプロジェクトに対する国の投資資金配分等を調整し、外資導入の調整等の権限を有する。

### (2) 基本政策

商工省が立案し 2007 年 12 月に閣議決定された No: 1855/QD-TTg 「国家エネルギー開発戦略 2020 年及び 2050 年展望」 (National Energy Development Strategy up to 2020, with 2050 Vision) が現在のベトナムのエネルギー基本方針といえる。エネルギーセキュリティの確保や省エネルギー技術の適用、環境保護等を政策課題として挙げている。

### (3) 最近の動向

- ベトナムとロシアは貿易だけでなくエネルギー分野での協力関係を強化している。2012 年 11 月、両国首脳会談にてエネルギー企業による相互投資やベトナムの原発建設を加速することで合意した。

## 3. 日本とエネルギー分野における関係

- 日本はベトナムから原油を輸入している。2011 年の原油輸入量は前年 (37.0 万 kl) 比 6.8 倍増の 252.0 万 kl であった
- 2012 年 8 月、出光興産及び JX 日鉱日石エネルギーがベトナムで潤滑油の生産を行うことをそれぞれ発表した。出光興産はベトナム北部に潤滑油の製造販売子会社を設立し、2014 年 1 月に生産を始めると発表した。成長が見込める二輪車用エンジンオイルなどの用途を見込む。JX 日鉱日石エネルギーは Haiphong 市に全額出資で新会社を設立し、年産能力 4 万 kl で立ち上げ、現地の日系二輪車メーカーのエンジンオイル向けなどに供給する。
- 2012 年 8 月 14 日、日本政府はベトナムの原子力賠償制度の整備に協力する覚書を結んだ。福島第 1 原子力発電所の事故の経験を生かし、ベトナムで原発事故が起きた場合の被害者救済の枠組みづくりを支援する。同国初の産業廃棄物発電 (ごみ発電) の実証事業を始めることや、レアアースの共同開発の加速でも合意した。

## 2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	59 MTOE
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	0.68 TOE/人
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.80 TOE/千\$
(4)	エネルギー自給率	111 %
(5)	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	130.46 百万 CO <sub>2</sub> 換算 ton
(6)	一人当たりエネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	1.5 CO <sub>2</sub> 換算 ton/人
(7)	エネルギー源別構成率	
	石炭	25 %
	石油	32 %
	天然ガス	14 %
	原子力	0 %
	水力	4 %
	再生可能エネルギー等	26 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	-11 %
(9)	石油の輸入依存度	16 %
(10)	輸入原油の中東依存度	— %
(11)	原油輸入先	
	第1位	—
	第2位	—
	第3位	—

(出所) (1) ~ (4) および (7) ~ (9) は IEA, Energy Balances of non-OECD Countries 2012 Edition、  
(5) ~ (6) は IEA, CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2012 Edition